

「2021年度分 ホールにおける電気使用量等調査」結果（概要）

2022年 12月 28日
全日本遊技事業協同組合連合会

調査対象ホール数 7,406ホール ※2021（令和3）年度末の組合員ホール数
回答ホール数 6,755ホール 回答率91.2%

（1）ホールにおける電気使用量

電気使用量有効回答ホール数 6,557ホール 有効回答（カバー）率88.5%

総使用量 5,274,887,163 kWh

※有効回答を集計した実数値に基づくCO2排出量

（電気事業連合会の公表値（0.453kg-CO2/kWh 2007年度実績）を使用して算定）
5,274,887,163kWh×0.000453 t-CO2/kWh=2,389,524 t-CO2 **239万 t-CO2**

【参考】 調査対象ホール数（7,406ホール）に換算した場合のCO2排出量の推計値
7,406ホール×2,389,524 t-CO2÷6,557ホール=2,698,919 t-CO2 **270万 t-CO2**

【参考】 CO2排出量削減実績

	CO2排出量 (万 t-CO2)		対前年度比 (%)		対2007（基準）年度比 (%)	
	実数値	推計値	実数値	推計値	実数値	推計値
2007 (H19)	362	471	—	—	—	—
2020 (R2)	242	273	△14.2 (40万 t-CO2 減)	△13.9 (44万 t-CO2 減)	△33.1 (120万 t-CO2 減)	△42.0 (198万 t-CO2 減)
2021 (R3)	239	270	△1.2 (3万 t-CO2 減)	△1.1 (3万 t-CO2 減)	△34.0 (123万 t-CO2 減)	△42.7 (201万 t-CO2 減)

※全日遊連「低炭素社会実行計画」

ホールが使用した電気使用量から換算したCO2排出量を2030（令和12）年度までに基準年度である2007（平成19）年度比で22%削減する。

遊技台数有効回答ホール数	6,710ホール	有効回答（カバー）率	90.6%
延床面積有効回答ホール数	5,801ホール	有効回答（カバー）率	78.3%
営業時間有効回答ホール数	6,205ホール	有効回答（カバー）率	83.8%
営業日数有効回答ホール数	4,998ホール	有効回答（カバー）率	67.5%

○「排出量／延床面積」	268.9kg-CO2/m ²
○「排出量／（延床面積×平均営業時間）」	20.1kg-CO2/m ² ・h
○「排出量／（延床面積×平均営業時間×平均営業日数）」	56.7g-CO2/m ² ・h
○「排出量／台数」	758.4kg-CO2/台
○「排出量／（遊技台数×平均営業時間）」	56.7kg-CO2/台・h
○「排出量／（遊技台数×平均営業時間×平均営業日数）」	159.9g-CO2/台・h

※「排出量／延床面積」…1平方メートル当たりの年間CO2排出量

※「排出量／（延床面積×平均営業時間）」…営業時間が1時間とした場合の1平方メートル当たりの年間CO2排出量

※「排出量／（延床面積×平均営業時間×平均営業日数）」…営業時間1時間当たりの1平方メートル当たりのCO2排出量

※「排出量／台数」…遊技機1台当たりの年間CO2排出量

※「排出量／（遊技台数×平均営業時間）」…営業時間が1時間とした場合の遊技機1台当たりの年間CO2排出量

※「排出量／（遊技台数×平均営業時間×平均営業日数）」…営業時間1時間当たりの遊技機1台当たりのCO2排出量

※原単位は経年変化を比較することで効率の変化を明らかにすることができる。調査対象ホールの面積、台数、営業時間、営業日数などが異なることから、将来へ向けた目標設定の指標とするために算定。

○電力会社別電気使用量

電力会社名	電力使用量 (kWh)	電力会社名	電力使用量 (kWh)
九州電力	703,306,314	エフビィットコミュニケーションズ	53,865,152
東京電力エナジーパートナー	598,283,107	沖縄電力	42,773,941
東北電力	422,765,548	HTB エナジー	37,888,075
中部電力	418,531,951	ENEOS	37,698,490
関西電力	351,306,969	丸紅新電力	35,070,739
テックスマーサービス	261,340,345	F P S	33,488,913
中国電力	191,506,089	シン・エナジー	31,437,767
四国電力	188,416,492	シナジアパワー	28,503,923
北海道電力	174,067,523	オリックス	19,444,084
九電みらいエナジー	168,937,573	楽天エナジー	18,905,343
北陸電力	167,692,598	ウエスト電力	18,883,765
中部電力ミライズ	140,865,684	日本テクノ	18,056,601
出光興産	128,695,227	その他の電力会社（合算）	226,626,905
エバーグリーン	79,294,110	電力会社名無記載	618,475,317
アイ・グリッド・ソリューションズ	58,758,618	合計	5,274,887,163

○最大需要電力（デマンド値）

有効回答ホール数	5,660ホール	有効回答（カバー）率	76.4%
----------	----------	------------	-------

(2) ホールにおけるCO2排出抑制対策（複数回答）

【既に導入した対策】

回答ホール数 6,755ホール

ホールにおけるCO2排出抑制対策	回答ホール数	回答率(%)
担当者を決めて節電対策を行っている	4,342	64.3
電気の「見える化」設備を導入している（契約用の計量器は除く）	3,053	45.2
LED照明を導入している	5,176	76.6
空調の設定温度を（節電寄与のため）ルール化している	4,950	73.3
営業時間以外は、ホール照明を全灯していない	5,777	85.5
電力ピークカット対策を行っている	2,586	38.3
ホールに太陽光発電設備を設置している	329	4.9
省エネに配慮された建物構造になっている	448	6.6
その他	250	3.7
無回答	330	4.9

【今後導入したい対策】

回答ホール数 6,755ホール

ホールにおけるCO2排出抑制対策	回答ホール数	回答率(%)
担当者を決めて節電対策を実施	100	1.5
電気の「見える化」設備を導入（契約用の計量器は除く）	136	2.0
LED照明を導入	136	2.0
空調の設定温度の（節電寄与のため）ルール化	54	0.8
営業時間以外は、ホール照明を全灯しない	21	0.3
電力ピークカット対策を実施	123	1.8
ホールに太陽光発電設備を設置	739	10.9
省エネに配慮された建物構造に改装	439	6.5
その他	2	0.0
無回答	330	4.9

(3) 電気代高騰への対策について

回答ホール数 6,755ホール

世界的な燃料価格の高騰などの影響により日本国内の電気代も高騰しているが、貴ホール（貴社）において最も有効な対策と思われるものについて	回答ホール数	回答率(%)
A. 電力調達先の見直し	1,455	21.5
B. 電気使用量の削減	4,998	74.0
C. 自家発電設備（自家消費型太陽光発電等）の導入	837	12.4
D. その他	90	1.3
無回答	528	7.8

(4) 省エネ法に関連した貴ホール（企業）の取組状況について

回答ホール数 6, 755ホール

1. 貴ホールが所属する企業は省エネ法上の「特定事業者」に該当するか	回答ホール数	回答率 (%)
A. 該当する	2, 238	33. 1
B. 該当しない	1, 454	21. 5
C. わからない	2, 530	37. 5
無回答	533	7. 9

回答ホール数 6, 755ホール

2. 貴ホールにおける電気使用量や最大デマンド値の記録保存期間はどれくらいか	回答ホール数	回答率 (%)
A. ○○年分、記録している (※)	4, 542	67. 2
B. 記録していない	271	4. 0
C. わからない	1, 136	16. 8
D. その他	260	3. 8
無回答	544	8. 1

※記録保存期間 (有効回答数 : 4, 542)	回答ホール数	回答率 (%)
～ 1年	328	7. 2
2～ 5年	2, 362	52. 0
6～ 9年	656	14. 4
10年～	1, 069	23. 5
年数無回答	127	2. 8

以上